

保護者のみなさまへ

令和5年9月
河内長野市立楠小学校
校長 坂田 臣 織

令和5年度「全国学力・学習状況調査」「すくすくウォッチ」の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。平素は本校の教育活動にご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今年4月18日(火)に6年生が実施しました「全国学力・学習状況調査」と5、6年生が4月21日(金)に実施しました「すくすくウォッチ」の結果をお知らせします。全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。

また、すくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みになります。

なお、調査結果は、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面であるので、すべての学力を捉えているものではないことに留意してください。

6年生 全国学力・学習状況調査の概要

国語

概要

全体の平均正答率は68.8%と大阪府より2ポイント、全国より0.8ポイント上回っている。「書くこと」においては、平均正答率が32.2%という結果だが、大阪府の平均正答率より8.0ポイント、全国の平均正答率より5.5ポイント上回っていた。

特に成果が見られた問題例

①一 情報と情報の関係を読み取る問題では66.1%と大阪府の平均正答率より2.9ポイント、全国の平均正答率より1.4ポイント上回っている。文章を読み取り、情報のつながりや原因と結果の関係であることを理解している。

①二 図表やグラフなどを用いて報告されている文章を読んで分かることを条件に合わせて書く問題と、②四 資料を読んで分かったことを書き文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる記述式問題で、大阪府と全国の平均正答率より上回っていた。文章を読んで分かったことをまとめて書く力に加え、理解したことに基づいて自分の考えを書く力があることがうかがえる。

特に課題が見られた問題例

①三(1)ウ ひらがなを漢字で書く問題の平均正答率は72.9%と大阪府の平均正答率より1ポイント低い結果となっている。

③三 日常よく使われる敬語を問われる問題では、平均正答率が55.9%と大阪府・全国の平均正答率より約2ポイント低い結果となっている。漢字や敬語など、言葉を正しく書いたり使ったりすることに課題が見られた。

また、①四 文章の特徴について理解しているかどうかを問われる問題では、78.0%と全国の平均正答率より1.8ポイント低い結果となっている。報告する文章を読んでどういった方法で相手に伝えようとしているかを考える力に課題が見られた。相手に説明するときの文章の組み立て方を考える活動などを取り入れていきたい。

6年生 全国学力・学習状況調査の概要

算数

概要

全体の平均正答率は66.0%と大阪府より4.0ポイント、全国より3.5ポイント上回っている。全ての領域において、大阪府の平均正答率と全国の平均正答率を上回っていた。

特に成果が見られた問題例

③(3) $(151+49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算する問題では、平均正答率が81.7%と全国の平均正答率より9.3もポイント上回っていた。分配法則を正しく用いて理解できている児童が多かった。

①(3)の椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く問題でも、平均正答率が63.3%と全国の平均正答率より7.8ポイント上回っていた。計算して求める問題については、基礎的な力がついていると考えられる。

特に課題が見られた問題例

③(1) 二種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ問題では、平均正答率が63.3%と全国の平均正答率より7ポイント低い結果となった。()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができていなかった。今後も問題場面と式が関連付けられるように指導していきたい。

6年生 すくすくウォッチの概要

理科

概要

全体の平均正答率は、74.0%と大阪府の平均正答率より0.9ポイント高い結果となった。「思考・判断・表現」の平均正答率は73.5%と、大阪府の平均正答率より3.6ポイント上回っている。

特に成果が見られた問題例

②(2)月の観察記録に必要な内容について答える問題では、平均正答率が96.8%と大阪府の平均正答率より8.5ポイント上回っている。観察の目印となるものを正しく選ぶことができていた。5年生の「雲と天気の変化」の単元で観察記録を書く際のポイントについて学習したことが正答率の高さに繋がったと考えられる。

また、②(6)気象衛星の雲画像とアメダスの降水量の画像から、今後の天気の変化について考察する問題では、平均正答率は39.7%と大阪府よりも16ポイント上回っている。雲の動き方を理解し、資料から今後の天気を予想できている児童が多いからだと考えられる。

特に課題が見られた問題例

②(4)月の動きを観察カードから考察する問題では、平均正答率が81.0%と大阪府の平均正答率より3.2ポイント下回る結果となっている。それまでの観察記録から月の動きを予想できていない児童がおり、正答できなかった児童のほとんどが無解答であることも気になる。また、②(3)の4年生で学習する月の名称についても、平均正答率が68.3%と大阪府の平均正答率よりも3.6ポイント下回っており、理解できていない児童が多い。児童自ら予想、考察する場面に授業に取り入れるとともに、関連する単元で既習事項についても取り扱うことで定着につなげていきたい。

6年生 すくすくウォッチの概要

わくわく問題(教科横断的な問題)

概要

全体正答率は、79.9%と大阪府より 4.3 ポイント上回っている。特に「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。」が大阪府より7.1 ポイント上回っている。また全ての問題において、無解答率が大阪府より低く、無解答者がいなかった問題も半分以上ある。

特に成果が見られた問題例

1 (2) 表の数値に着目して考え、内容をまとめる問題では、準正答も含め、73%と大阪府より 14.9 ポイント上回っていた。表を読み取り、地図と関連付けて考えることができていた。

3 (3) 自分で記号を作って、その工夫を文章で書く問題では、準正答率も含め98.4%と高い正答率であった。相手にわかりやすく伝えるための工夫を考え表現することができていた。

特に課題が見られた問題例

1 (3) 条件に合わせて自分の考えをまとめる問題では、準正答も含め、87.3%と大阪府より 1.7 ポイント下回っていた。3つある条件を全て満たして、解答することができていなかったと想定される。問題を適切に読み取り、条件に合わせて資料と自分の考えを結び付けてまとめていく活動を取り入れていきたい。

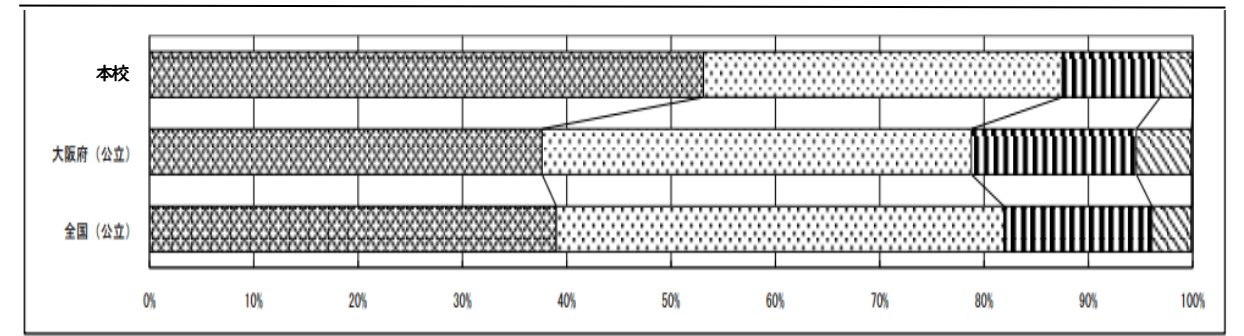
6年生 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ 児童アンケート

●成果が見られたアンケート項目

【全国学力学習状況調査 児童アンケート】

質問番号	質問事項										
(38)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
本校	53.1	34.4	9.4	3.1						0.0	0.0
大阪府(公立)	37.6	41.1	15.8	5.3						0.0	0.1
全国(公立)	39.0	42.9	14.2	3.8						0.0	0.1

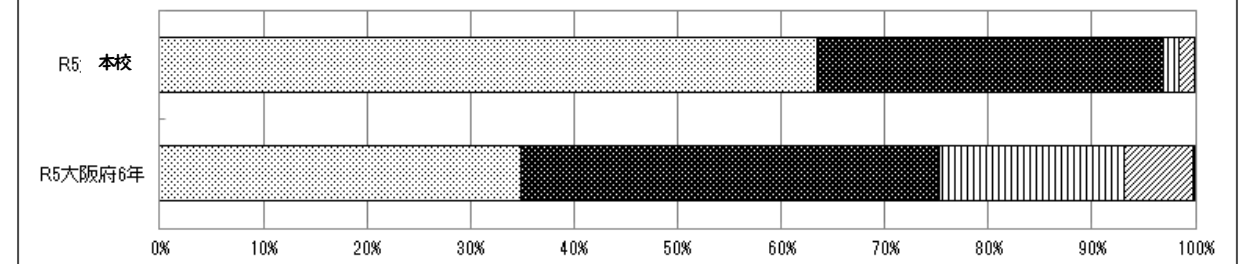
1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



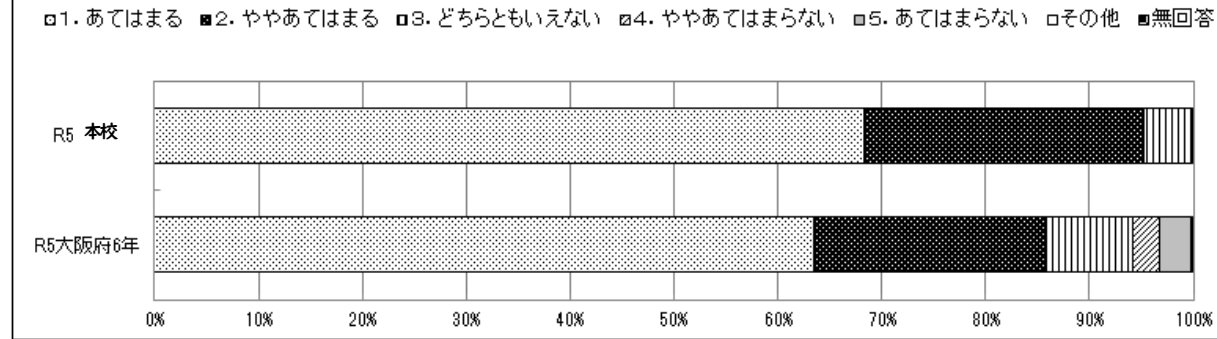
【すくすくウォッチ 児童アンケート】

質問番号	質問事項													児童アンケート番号
50	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようしている													22
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5 本校	63.5	33.3	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	34.9	40.5	17.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.3

1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない その他 無回答

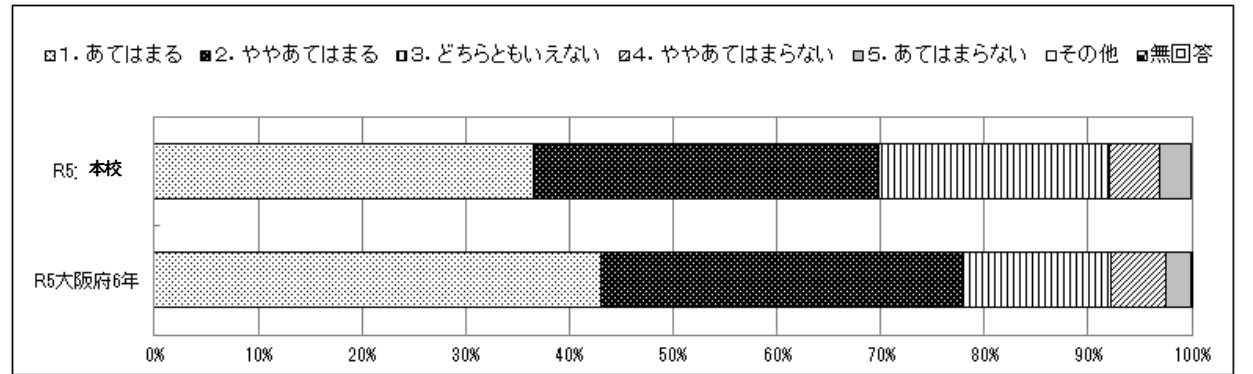


質問番号	質問事項													無回答
59	読んでいてわからなくなったときは、もう一度読み直してみる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5: 本校	68.3	27.0	4.8	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	63.5	22.4	8.3	2.5	3.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2



【すくすくウォッチ 児童アンケート】

質問番号	質問事項													無回答
16	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5: 本校	36.5	33.3	22.2	4.8	3.2	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	43.1	34.8	14.3	5.2	2.4	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1

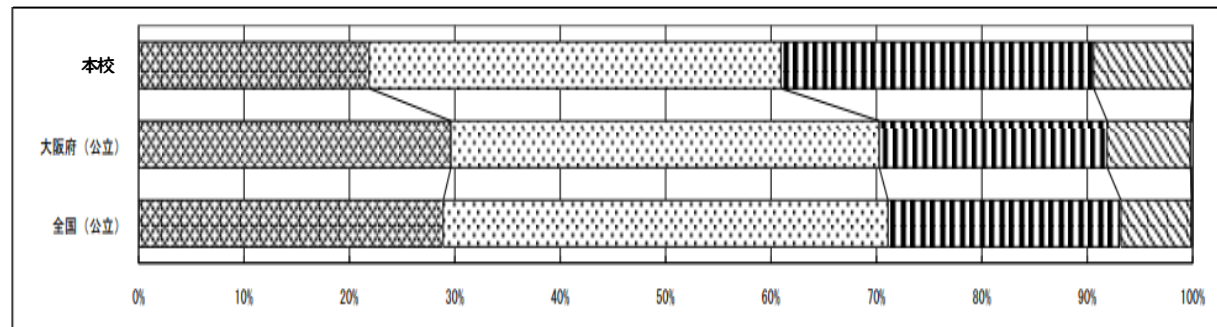


●課題が見られたアンケート項目

【全国学力学習状況調査 児童アンケート】

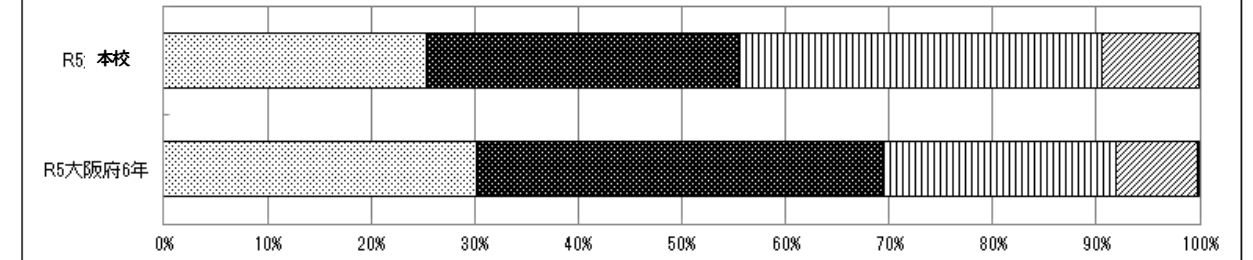
質問番号	質問事項													無回答
(49)	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答			
本校	21.9	39.1	29.7	9.4						0.0	0.0			
大阪府(公立)	29.6	40.6	21.6	7.9						0.0	0.2			
全国(公立)	28.9	42.2	22.1	6.7						0.0	0.1			

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項													無回答
49	話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている													38
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5: 本校	25.4	30.2	34.9	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府6年	30.2	39.3	22.4	7.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.3

□1. あてはまる □2. どちらかといえば、あてはまる □3. どちらかといえば、あてはまらない □4. あてはまらない □その他 □無回答



概要

国語・算数ともに好きだと答えた児童が多く、学習に前向きであることが分かる。難しいことがあってもあきらめなかったり、以前にうまくいったやり方を試したりするなど学習意欲が高い。良い所を生かして、将来の夢や目標を持てるような活動も取り入れていく必要がある。

特に成果が見られたアンケート項目

38「学習で学んだことを他の学習に生かしていますか」という設問では、肯定群回答が本校87.5%と全国より5.6ポイント高く(「当てはまる」の選択肢だけ見ると全国より14.1ポイント高い)、50「授業で学んだことをふだんの生活にいかすようにしている」という設問でも、肯定群回答が本校96.8%と大阪府より21.4ポイント高くなっていた。また、59「読んでいてもわからなくなったときは、もう一度読み直してみる」という設問では、肯定群が本校95.3%と全国より9.4ポイントも高くなっていた。学習に対して粘り強く取り組み、習得したことを、他の学習や生活に生かすことができていることが分かる。現在の学習指導要領がめざしている、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」につながっていると考えられる。

特に課題が見られたアンケート項目

49「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか」という設問では、肯定群回答が本校61.0%と全国より10.1ポイント低くなっていた。

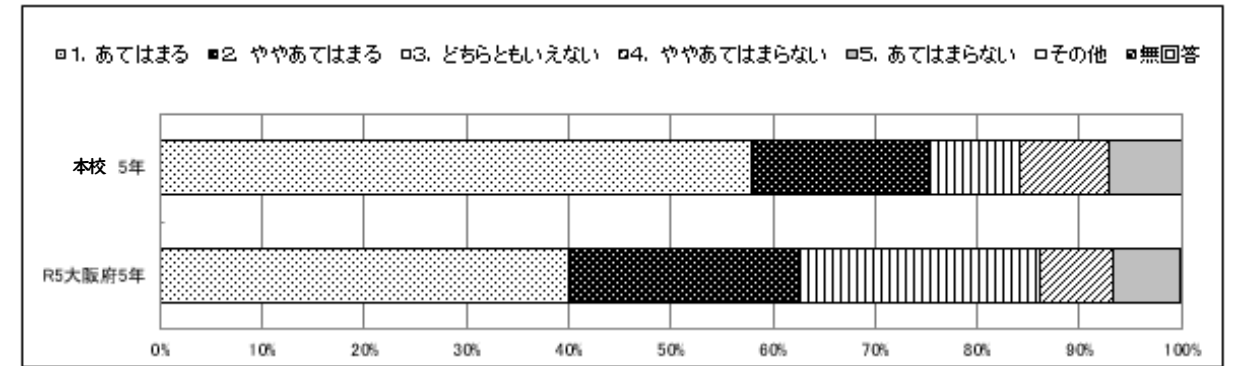
また、49「話し合う場で自分の考えを深めたり、広げたりしている」という設問では、肯定群回答が本校55.6%と大阪府より13.9ポイント低くなっていた。何を書くかの基準などを理解し、お互いの文章や作品を評価する活動や、グループ活動で交流・検討・推敲などをする活動を引き続き行っていく必要がある。

16「休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる」という設問では、肯定群回答が本校69.8%と大阪府より8.1ポイント低くなっていた。作業から話を聞く時や活動が変わる時などの際に、机上整理などの間を挟みながら、一つひとつの活動の切りかえをきちんとできるように取り組んでいきたい。

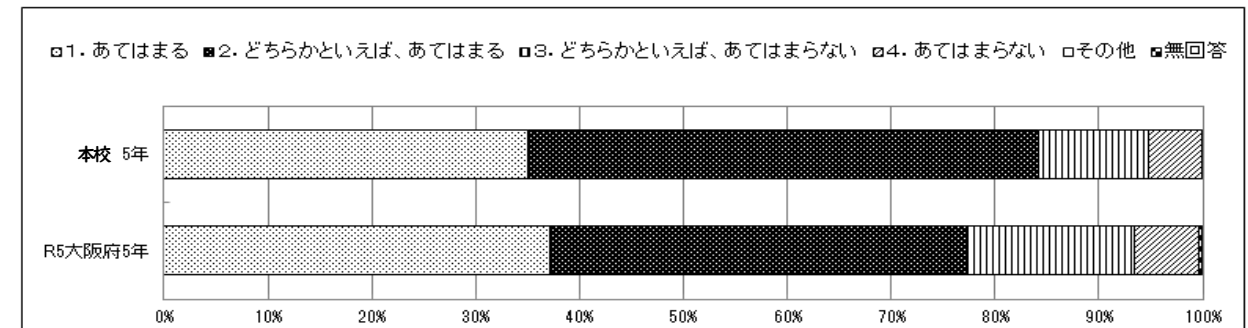
5年生 すくすくウオッチ児童アンケート

●成果が見られたアンケート項目

質問番号	質問事項													回答アノテーション
32	あなたの学級は、授業中まぢがっても笑われない													13
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
本校	57.9	17.5	8.8	8.8	7.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	40.1	22.5	23.4	7.2	6.5	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.2

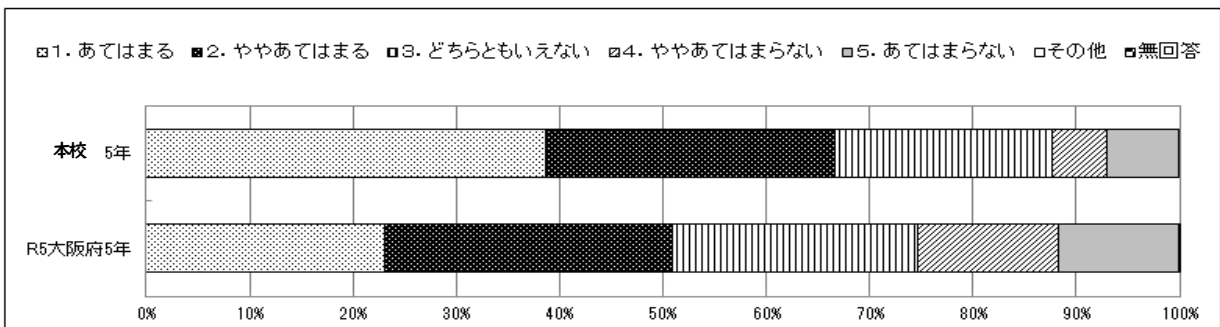


質問番号	質問事項													回答アノテーション
50	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている													22
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5 本校	35.1	49.1	10.5	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	37.1	40.1	16.2	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.3

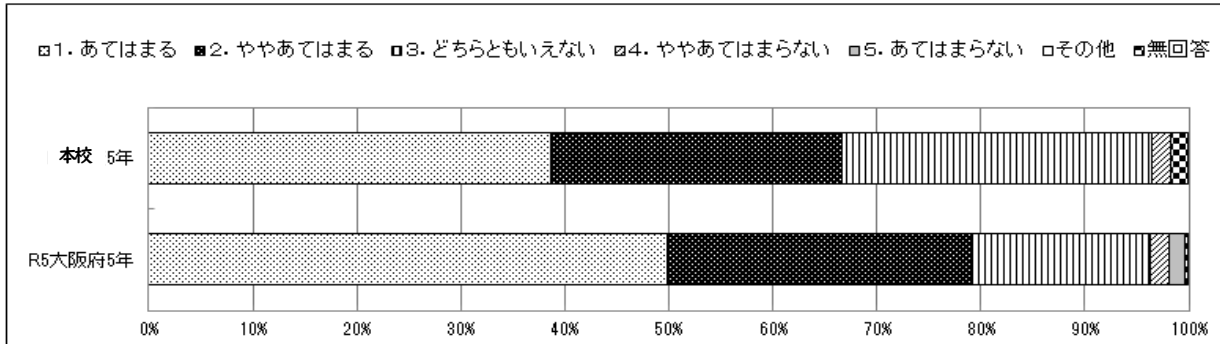


●課題が見られたアンケート項目

質問番号	質問事項													調査アンケート項目
6	終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5 本校	38.6	28.1	21.1	5.3	7.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R5大阪府5年	23.1	27.8	23.8	13.6	11.5	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.1



質問番号	質問事項													調査アンケート項目
38	学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている													12
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R5 本校	38.6	28.1	29.8	1.8	0.0	-	-	-	-	-	-	-	0.0	1.8
R5大阪府5年	49.9	29.4	17.1	1.7	1.6	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.4



概要

何事にも努力する意識は高い。困ったことがあった時に相談したり、相手の話を最後まで聞いたり、互いに認め合ったりできる長所を大切にしつつ、新しいことにも挑戦しようとする機会も取り入れていく必要がある。

特に成果が見られたアンケート項目

32「あなたの学級は、授業中まちゃがっても笑われない」という設問では、肯定的回答が本校 75.4%と大阪府より 12.8 ポイントも高くなっていた。安心できる学習環境が整ってきていることがわかる。

50「授業で学んだことをふだんの生活にいかすようにしている」という設問では、肯定的回答が本校 84.2%と大阪府より 7 ポイント高くなっていた。現在の学習指導要領が目指している、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」につながっていると考えられる。

特に課題が見られたアンケート項目

6「終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けることが難しい」という設問では、肯定的回答が本校 66.7%と大阪府より 15.8 ポイント低くなっていた。学習課題について持続して考えたり行動したりする活動を引き続き行っていく必要がある。

38「学級会では、自分たちで意見を出し合っものごとを決めている」という設問では、肯定的回答が本校 66.7%と大阪府より 12.6 ポイント低くなっていた。伝えたいという気持ちを伸ばしつつ、相手が言いたいことは何かを聞く力を育てていきたい。

結果を受けて

〈学校が重点的に取り組んでいくこと〉

各教科において、学習の基礎となる言葉や考え方などを十分に定着させていけるよう、身近な生活と結び付けて子どもたちが主体的に学ぶことができるよう引き続き取り組んでいきます。普段の生活に関連のある学習においては一定の成果を上げているが、あまり身近でなかったり一度しか出てこなかったりする単元の学習内容においては課題が見られたので、一人一台端末を活用する等して、定期的に復習をする機会を設けていきます。特に、朝学習や授業中の振り返りに力を入れていくことで繰り返し学習する機会をつくっていきます。

また、情報量が多くなる課題では情報を整理して考える機会を増やし、

- ・複数の資料を1つにまとめたり文章を図にまとめたりする活動
- ・キーワードや共通点を見つけ出したりする活動
- ・教師がモデルとなる文章を掲示し参考にさせることで「できた」と実感できるような活動
- ・教師がモデルとなる文章や誤った文章を提示し、自分の考えを深めたり広めたりする活動
- ・資料の内容と自分自身の知識や経験を結び付けて考える活動

などに引き続き取り組んでいきます。また、社会の時事問題にも触れる機会を持つことで、自分たちがこれから生きていく社会についても考えていければと考えております。

〈児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと〉

問題の文章を正しく読み取ったり、複数の資料から答えを考えたりする力をつけて欲しいです。そのためには、普段の授業で情報を整理して考える習慣を身につけていきましょう。ノートを分かりやすく見やすくまとめたり、友だちの意見を付け加えたりして自分で工夫していきましょう。授業の最後にその日の学習を振り返って考える機会をつくったり、メモを取って考えを整理したりすることにも取り組んでみましょう。また、言葉の意味がわからない時には、そのままにしないで辞書や学習端末で調べることも大切にして欲しいです。

〈保護者のみなさまに協力してほしいこと〉

子どもたちには、自ら考える力をつけていきたいです。そのためにも、お子さんが学習していく際に、わからない問題があったとき、すぐに答えを言うのではなく、おうちの人と一緒に考える機会を作っていただきたいです。子どもたち自身で考える習慣が身に付いていくと考えられます。

また、今回の児童アンケートの結果から、「朝食を毎日食べている」児童が5年生も6年生も95%以上と高い数値になっていました。生活のリズムは、子どもたちの学力向上の土台となるものです。引き続き生活習慣の確立にご協力ください。

お忙しい中ではありますが、今後とも、ご協力よろしくお願い致します。